

## 別子銅山の歴史をたどる 初級

[講座紹介] 1691年から1973年まで。銅を掘り3000万トンの銅鉱石を産出し65万トンの銅を生産した別子銅山の283年間の歴史をたどっていきましょう。

講師 坪井 利一郎（元別子銅山文化遺産課長）

時間 水曜日 9:30~11:30 場所 生涯学習センター 定員 40名 受講料 1,500円

回	日 程	テーマ（内 容）
1	6月24日	「別子開坑」 開坑から自然と共存しながらの採鉱をたどっていく。
2	7月22日	「明治の近代化」 採鉱の限界に達した鉱山のさらなる開発を、近代化を通して見ていく。
3	9月30日	「煙害問題」 近代化による多量産出による負の問題をいかに解決したか先人の英知を学ぶ。
4	11月18日	「大正の躍進と共存共栄」 山・浜・島が連携した生産の高揚期をさぐり、いかに新居浜市の基礎がつくられたかを知る。
5	12月16日	「戦後の復興」 戦争の乱掘後、いかによみがえり、そして閉山に至るまでをかえり見る。